

# 令和元年度 相生市内在学の児童・生徒による人権作品の紹介

## ★人権作文の部 特選受賞者と作品

ランドセル

双葉小学校 1年 なかたに あかね

わたしは、ちやいろいろのランドセルです。おともだちは、ピ  
ンクやみずいろやむらさきなどの、いろいろないろのラン  
セルをもっています。

ランドセルをかいにいったとき、あかのランドセルがほし  
いとおもっていたけど、ちやいろいろのランドセルをせおって  
みたら、かわいくてかきこそうにみえたので、ちやいろにし  
ました。

わたしのおとうさんやおかあさんがこどものころは、ほと  
んどのが、くろとあかのランドセルだったそうです。おと  
このこがくろで、おんなのがあかのランドセルだったそう  
です。おとこのこであかいランドセルのこはいなかったとい  
っていました。いろは、おとこのこやおんなのこでわかるき  
まりはないとおもうのに、どうしておとこのこがくろでおん  
なのがあかなのか、ふしぎにおもいました。

このはなしをきいて、いまは  
すきないろのランドセルをえら  
べるので、よかったとおもいま  
した。わたしはこれから、じ  
ぶんでえらんだちやいろいろのラン  
ドセルをたいせつにつかいたい  
とおもいました。



### 特選受賞者 小学校

学校	学年	氏名	作品名
双葉	1	中谷 暁音	ランドセル
中央	1	山田 一葉	うれしいのち
青葉台	2	長棟 舞衣	車いすから学んだこと
相生	3	濱田 愛莉	ちくちく言葉とふわふわ言葉
双葉	4	福井 響	え顔の花
中央	5	松村 尚樹	ぼくの弟は左きき
双葉	6	藤井 音羽	松葉杖生活をしてみて

### 中学校・高等学校

学校	学年	氏名	作品名
那波	1	粉原 咲月	大切な言葉かけ
双葉	2	矢倉 圭恭	中学2年 13歳の僕
矢野川	2	奥田 拓馬	人間関係に悩んだら
矢野川	3	前田 結里亜	言葉の重み
相生高	2	高田 美空	私のいとこ
相生産高(定)	3	棚橋 亮太	僕の見ている世界

### ふれ愛シネマ

日時 12月7日(土)  
14:20~15:50

場所 相生市文化会館  
扶桑電通なぎさホール  
(大ホール) 入場無料

作品 キセキの葉書

内容 「明日も明後日も生きていて  
ください…」母への思いを託  
した葉書は5,000枚にも及び  
ます。西宮市を舞台に、多くの  
試練を乗り越え生き抜く主人  
公の実話  
に基づく感動の物語で  
す。



## 言葉の重み

矢野川中学校 3年 前田 結里亜

私たちが生まれた頃にはスマホなんてものはなく、今の生活を想像もしていませんでした。

スマホは、私が説明するまでもなく、とても素晴らしく、とても怖いものです。良くも悪くもスマホは調べたいものをすぐに調べ、伝えたいことをすぐに伝え、見たいものは何でも見せてくれます。その賢い機能ゆえに、皆が夢中になります。バス、電車、自転車で乗っている時や歩いている時でさえスマホを手にしている人もいます。私も何か調べたり、友だちとLINEをしたり、暇になれば何気なくスマホを手に取る癖がついてしまっているのかもしれない。でも私は、時々思うことがあります。LINEなどを使って友だちに何かを伝える時、自分の思っていることが上手く伝わっているのだろうか。友だちはどういう思いでこの言葉を使ったのだろうか。「顔を見て話すと、きっともっと上手く伝えられたかもしれない。」と、思うのです。

時間や場所を伝えるだけなら、とても便利なものとして安心して使えます。でも学校のこと、友だち同士の何気ない会話も、字だけでは伝わらないこともあると思います。小説などのように作家が伝えたいことをあれだけのページ数を使って説明するのであれば、十分相手に伝わるかもしれない。でも一行二行の短い文では、相手に伝わらないことも多いと思うのです。会って話せばいつもの会話も、字だけを見ればきつい言葉に感じることもあります。目を見て話せば感じ取れる相手の感情も、字だけでは全てはわかりません。

私も使っていて、便利だと思っているものを全否定するつもりはありません。ただ便利がゆえに便利なものに頼りすぎ

て、大切な友だちに自分の思っている通りに、自分の感情が伝わるとは限らないのです。間違って相手に伝わっているかもしれないのです。

先日私は、母と歯の検診のために歯医者に行き、歯科助手さんに「何か変わったことはなかった？」と聞かれ「大丈夫です。」と答えたのですが、後で母に叱られてしまいました。私は「え？」と思ったのですが、母いわく、私が診察台に座り歯科助手さんは私の背中の方において、私の顔は見えていませんでした。そのため丁寧な言葉を使ってもその時の声のトーンできつく聞こえ、少し不快な顔をされていたそうです。顔を見て話さない時は、声のトーンや言葉でしか判断できないから気をつけるようにと言われてました。自分ではこの時深く考えずにいたため、母に言われて気がついたことでした。とても反省しました。このことから、自分の思いを言葉にして相手に伝えるのはとても難しいことだとわかります。でも言葉は素晴らしいものであり、その日一日気分がよくなったり、何かの励みになったりします。

みんながスマホに振り回されることなく、もっと言葉を大切にすれば、便利なものを上手く利用することができると思います。スマホでコミュニケーションをとることも大切かもしれませんが、でも会って話すとより言葉に気をつけて、思ったことを何でも字にしてしまわずよく考えてから自分の言葉として発信することができたら、スマホで嫌な思いをする人も少なくなると思います。自分もこれまで以上に気をつけ、自分の思いを自分の言葉として伝えられる人になりたいです。



# ★人権ポスターの部 特選受賞者と作品



青葉台小1年 平田 宗助



青葉台小4年 明石 旺



那波小5年 福田 凜



中央小2年 野中 理来



双葉小3年 藤田 善



双葉小6年 三橋 莉乃



矢野小6年 萩原 佑美



那波中1年 大條 倫太郎



那波中1年 矢野 桃々奈



那波中2年 松本 恋幸



双葉中2年 安藤 誠富



双葉中2年 毛利 暖



那波中3年 小坂 希咲



矢野川中3年 小林 洸晴

## 人権標語の部 入選受賞者と作品

伝えよう	少しの勇気で	未来が変わる	相生小	5年	石中	亜沙美
どうしたの?	その一言が	うれしいよ	那波小	5年	高畑	一颯
考えよう	だれかのためにできること		双葉小	5年	辻	育哉
小さな力が合わさって	大きな笑顔に変えていこう		若狭野小	5年	奥田	真矢
輝く明日へ	一人を思う	みんなの心で	矢野小	5年	竹山	駈
友達は	なくてはならない宝物		青葉台小	5年	橋本	莉杏
広げよう	かんしゃ	スマイル	中央小	5年	廣政	時恵
どうしたの?	その一言が	あたたかい	相生小	6年	小橋	侑馬
気づいてよ	その一言が	ぶきになる	那波小	6年	青木	優歩
きらきらしてる	世界に一つ	きみの色	双葉小	6年	吉井	舞耶
心にわかる	その言葉	わかってあげて	若狭野小	6年	平林	剛
みんなで笑顔	一人が笑うと	二人が笑う	矢野小	6年	川本	理子
つらいなら	だれかに話して	その悩み	青葉台小	6年	宮崎	愛香
こわいけど	ぼくもやりたい	止める側				

その言葉	大事な人に	言えますか	中央小	6年	吉野	榎恋
その笑顔	みんなつられて	また笑顔	那波中	1年	富田	祈音
いじめの芽	少しの勇気で	つみとれる	双葉中	1年	船曳	直也
よく読んで	相手のこころの	メッセージ	双葉中	1年	三浦	妃菜乃
やめようよ	誰かが傷つく	その偏見	那波中	2年	中田	莉緒
何気ない	「軽い」言葉の	持つ「重み」	双葉中	2年	猪澤	星花
あいさつは	心をつなぐ	愛言葉	双葉中	2年	松本	晃太朗
やめようよ	その一言が	救いの手	那波中	3年	荒木	彪吾
ノリ悪い?	そんなノリなら	乗りたくない!	双葉中	3年	濱野	二羽香
友だちと一緒に	いるそれだけで	私はわたしになれたんだ	矢野川中	3年	福田	彩華
見てるだけ	そんな自分を	せめないの?	相生高	1年	鍋谷	颯佑
届けよう	心をつなぐ	思いやり	相生産高(定)	1年	高谷	竜也
言う前に	言われてどうか	考えて	相生高	2年	八木	和将
「大丈夫?」	気遣う気持ち	自分から	相生産高(全)	2年	福井	翔一
大丈夫	あなたの味方は	すぐそばに	相生産高(定)	2年	平井	大地
認め合おう	それぞれが持つ	自分らしさ	相生産高(全)	3年	馬江	美晴